

第2次 川根本町総合計画 概要版

基本構想 2017→2026
後期基本計画 2022→2026



水と森の番人が創る癒しの里 川根本町
～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと～

第2次川根本町総合計画策定にあたって

川根本町では平成18年度に計画期間を10年間とする「第1次川根本町総合計画」を策定して以来、「水と森の番人が創る癒しの里 川根本町～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと～」を目指すまちの将来像として総合的・計画的なまちづくりを推進してまいりました。現在は、少子高齢化や人口減少等の社会環境の変化に対応すべく平成28年度に策定した「第2次川根本町総合計画」に基づき、時代の潮流に即した効果的なまちづくりを推進しております。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行や大規模な自然災害の全国的な発生、更なる少子高齢化や人口減少の進行等、町民の安心・安全に対する課題は増加しているといえます。一方で、青部バイパスの開通や高度情報基盤の整備による企業誘致等、合併して16年、小さな町だからできること、未来想像を描き未来に繋がる変化も考え進めております。



当町では、このような状況を踏まえ、また「第2次川根本町総合計画」が令和3年度に計画の見直し年度となることから、「第2次川根本町総合計画(後期基本計画)」を策定いたしました。

本計画においては、これまでの目指すまちの将来像を継続しつつ、「千年の学校」の目標である「ひとづくり」、「魅力づくり」、「活力づくり」の3つの観点を好循環させ、コロナ禍の中、ピンチをチャンスにと考え、主要産業の活性化を中心とする『川根茶・温泉・自然 川根本町の強みを活かすプロジェクト』と移住・定住促進を中心とする『人口減少の克服を目指すプロジェクト』という2つのプロジェクトを重点戦略として位置づけ、総合的・計画的、そして効果的にまちづくりを推進してまいります。2015年9月に、国連サミットで採択されましたSDGs(持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現」を世界共通の目標として掲げており、私たちのまちづくりに共通するものです。まちの将来像を実現させ、町民が安心・安全に暮らすことができ、未来へとつながる「まち」、千年先も続く「まち」としていくために取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続き町民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたり、多大なご尽力を賜りました総合計画審議会委員の皆様をはじめとする多くの関係機関や関係団体の皆様、また町民アンケート、町民ワークショップ、子ども会議、パブリックコメント等を通じて貴重なご意見をいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

令和4年6月

川根本町長 蘭田 靖邦

まちの将来像

水と森の番人が創る癒しの里 川根本町

～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと～

これまで継承してきた歴史・文化、そして町民が幸せを感じ、笑顔に満ちた千年先も続く「まち」をつくるために、「千年の学校」の目標である「ひとづくり」、「魅力づくり」、「活力づくり」の3つの観点により、施策を展開し、それを好循環また、相乗させることを基本理念とし、まちの将来像を実現していきます。

1 ひとづくり～地域への誇りと愛着、豊かな才能を持った人があふれるまち～

「人」はまちを支える根幹、いわば「人財」であり、最も大切な財産です。人の成長は町全体の価値を高めることにつながります。学校教育、産業人材育成、生涯学習、生涯スポーツの充実により、自らの地域への誇りと愛着、豊かな才能を持つ「ひとづくり」を推進します。

2 魅力づくり～だれもが暮らしやすいまち～

快適で安心して暮らせる環境は、豊かな生活の土台であり、活力の維持・創出の源といえます。そのため、生活の基盤となる保健医療、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援、地域基盤、生活環境、生活安全、行財政等の満足度を高めることで、安心して住むことができるまちづくりを進め、まちの魅力としていきます。

また、川根本町の資源である豊かな自然や温泉などの利活用を進めるとともに、これまで受け継がれてきた歴史・文化を適正に継承・活用していきます。すべての人が「出番」と「役割」、そして「責任」を分かち合うコミュニティを形成し、住民主体のまちづくり・地域づくりを進めていきます。

3 活力づくり～豊かな生活を支える活力をつくる～

産業は豊かな生活を支える基盤であり、産業の振興がまちの活力を生み出します。「川根茶」を中心としたまちの特色ある農業、林業や商工業・観光業等と豊かな自然や温泉といった地域資源を洗練させ、地元企業や事業者と連携を図りながら、産業基盤のボトムアップを図り、更に地域資源・地域人材(財)を活かした新しい産業を生み出すことで、元気で豊かなまちづくりを推進します。そして、その魅力・価値を活かす仕組みや体制を整え、効果的に発信していくために、戦略的なプロモーションに取り組みます。

計画の概要

社会の潮流に的確に対応する視点を持ちながら、6つの分野別施策を展開していきます。また、「川根本町の強みを活かすプロジェクト」と「人口減少の克服を目指すプロジェクト」を重点施策として位置付け、分野を横断して展開していくことで、基本理念、そしてまちの将来像を実現していきます。

まちの将来像

水と森の番人が創る癒しの里 川根本町
～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさと～

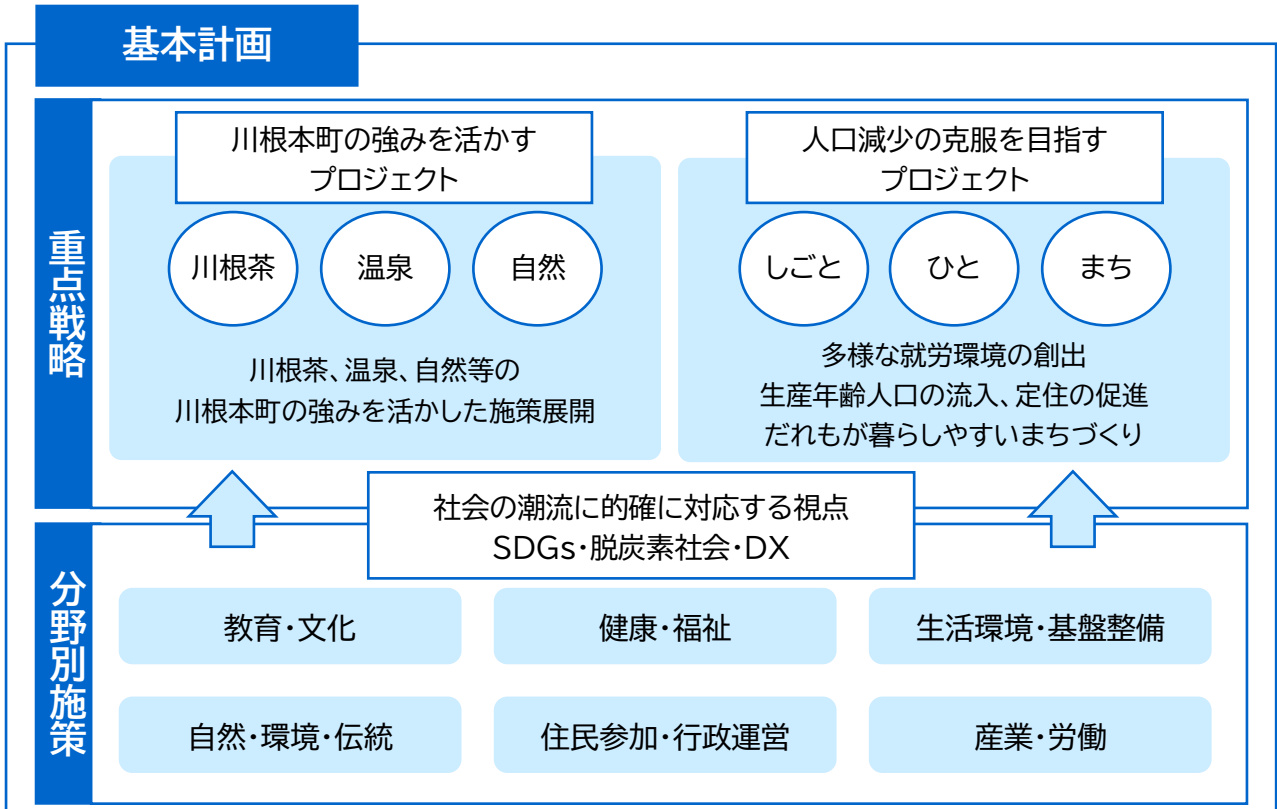


基本理念

- 1 ひとづくり～地域への誇りと愛着、豊かな才能を持った人があふれるまち～
- 2 魅力づくり～だれもが暮らしやすいまち～
- 3 活力づくり～豊かな生活を支える活力をつくる～
- 4 「ひとづくり」「魅力づくり」「活力づくり」の好循環



基本計画



重点戦略

1 川根茶・温泉・自然 川根本町の強みを活かすプロジェクト

川根茶・温泉・自然、3つの魅力を活用し、川根本町の新たなる強みとして再構築し、活力あるまちづくりを目指します。

◎川根茶 地域資源の価値の向上

茶業従事者、関係機関、各種団体、町が一体となった組織づくりにより、早急に茶業の戦略的な展開に向けた取組を進めます。

◎温泉 地域資源の活用と新たな価値の創出

豊かな自然環境を活かした体験と温泉を組み合わせた観光プログラムを早期に開発し、推進していきます。

◎自然 自然との共生・豊かな暮らしの実現

キャンプ・カヌー等の体験を活かし、自然と共生したワーケーションなど、安らげる空間を提供していきます。

2 人口減少の克服を目指すプロジェクト

地域における魅力ある多様な就業機会である「しごと」、地域社会を担う個性豊かで多様な人材である「ひと」、一人ひとりが夢や希望を持ち、豊かな生活を安心して営める「まち」を充実させることで、人口減少を克服していきます。

◎しごと 多様な就労環境の創出

ICTを活用したサテライトオフィスや企業誘致を行うとともに、商工会や関係機関、町が連携し、新たな産業の創出を検討します。

◎ひと 生産年齢人口の流入、定住の促進

ICT教育・キャリア教育やリカレント教育等の川根本町らしい教育を展開させるとともに、移住・定住プロジェクトチームを立ち上げ、魅力あるまちを目指します。また、関係機関や近隣市町と連携し、マンパワーをフル活用して賑わいあるまちを創出していきます。

◎まち だれもが暮らしやすいまちづくり

官民一体となって身近で顔の見えるサービス提供の維持・充実を図ります。また、近隣市町と連携した広域的な医療・福祉サービスを展開します。

分野別施策

1 教育・文化分野

地域を支えるひとであふれるふるさと



学校教育

時代の変化に合わせて、地域特性に合わせた特色ある学校教育を進めます

- ①すこやかに育ち、豊かな感性をはぐくむ幼児教育の推進
- ②個性に応じたきめ細かな教育による確かな学力と人間性を育てる小中学校教育の推進
- ③個性と能力を最大化できる高校教育への支援 ④快適な学習環境の整備

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
待機児童数	0人	0人
学校が楽しいと思う児童生徒の割合	96.6%	100%
川根高校入学生人数	41人	41人以上
「児童生徒がICTを活用して学習事項を整理したり、多様な方法でまとめたりすることができるように指導できる」と回答する教職員の割合	77.8%	100%

産業人材育成

町内の産業に必要なとされる人材の育成・確保を行います

- ①産業界から求められる能力を習得する機会の提供 ②町内の産業を支える人材の積極的な確保

KPI(目標指数)	現状値(令和元年度)	目標値(令和8年度)
産業人材育成に関するセミナー等の開催数(年間)	1回	2回

生涯学習

すべての住民が地域を学ぶ機会を持ち、地域で活躍できる場を提供します

- ①地域を知り、自ら進んで参加し、地域に貢献できる機会の創出
- ②豊かな感性をはぐくむ文化・芸術活動の促進 ③未来を担う青少年の育成と社会参加の促進

KPI(目標指数)	現状値(平成30年度)	目標値(令和8年度)
生涯学習活動参加者割合	27.0%	32.0%
文化施設利用者数	18,706人	19,000人
青少年活動参加割合	65.0%	80.0%

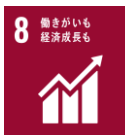
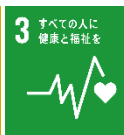
生涯スポーツ

元気でいきいき暮らせる環境をつくれます

- ①スポーツを通じたふれあいと健康づくりの推進
- ②気軽にスポーツに取り組むことができる環境整備

KPI(目標指数)	現状値(平成30年度)	目標値(令和8年度)
社会体育施設利用者数	34,791人	42,000人

2 健康・福祉分野 安心して元気に暮らせる ふるさと



保健医療

健康づくり支援と、一次医療体制の充実を図ります

- ①自発的な健康づくり活動の促進
- ②疾病の早期発見・早期治療
- ③地域医療体制の確保
- ④町内外の医療機関等と連携した救急医療体制の充実

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
特定健診の受診率	47.1%	60.0%
診療所数	5診療所	5診療所

地域福祉

関係機関と連携を密にして、豊かで安心して暮らせる地域づくりを進めます

- ①地域における見守り体制の充実
- ②生活困窮者の自立支援
- ③福祉人材の確保・育成
- ④地域共生社会の実現

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
福祉ボランティアの登録者数	203人	225人

高齢者福祉

高齢者が健康で暮らし続けられるようにサービスを充実させます

- ①介護保険事業の円滑な推進
- ②高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進
- ③日常生活を支える支援の充実

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
要介護認定者の割合(第1号被保険者)	19.0%	18.0%

障がい者福祉

社会参加の機会や自立支援を中心とした取り組みを進めます

- ①就労機会の充実と社会参加の促進
- ②自立した生活を支える福祉サービスの充実

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
町内での障がい者雇用数	13人	20人

子育て支援

自然とのふれあいなど、地域特性を活かした取り組みを進め

結婚・出産・子育てなどがしやすい環境を作ります

- ①子育てしやすい地域社会の実現
- ②子育てへの不安の解消
- ③男女の交流機会の促進

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
子育て支援施設利用者数	3,010人	3,000人

3 生活環境・基盤整備分野

快適に安心して暮らせるふるさと



地域基盤

生活や生産、経済活動の基盤となる土地のもつ価値を最大限に活用します

- ①適正な土地利用の計画的推進
- ②快適に安心して利用できる交通体系の整備
- ③だれもが利用しやすいまちづくりの整備
- ④ICTの活用による生活利便性の向上

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
生活道路整備率	91.3%	93.0%
インターネット加入件数(やませみネット加入件数)	839件	1,000件

生活環境

多様化するニーズに対応するため住宅環境整備やシステムの構築を進めます

- ①自然と生活が調和した生活空間の創出と多様な生活スタイルに適した居住環境の提供
- ②移住・定住の促進
- ③安心・衛生的な生活環境の維持

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
定住促進住宅建設補助制度利用件数	23件	41件
空き家バンク利用移住件数	5件	5件
1日当たりのゴミ排出量	4.94t	4.79t
基幹管路の耐震化率	16.48%	17.10%

生活安全

広域な防災、救急、防犯の仕組みを作り暮らしやすい町を目指します

- ①地域防災力の向上と自然災害対策等の充実
- ②消防・救急体制の充実
- ③犯罪・事故の抑制

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
地域防災訓練参加者の割合	54.7%	60.0%
火災発生件数	4件	0件
交通事故の発生件数	17件	0件

4 自然・環境・伝統分野 自然・歴史と共に暮らすふるさと



歴史・文化

地域の歴史・伝統文化の伝承を大切にし、新たな文化を作ります

- ①文化・伝統の保全と継承
- ②文化・伝統を活かした地域づくりの推進

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
伝統文化伝承館利用団体数	5団体	10団体

自然環境

自然に触れ合う機会を作りながら、環境保全への対策をしていきます

- ①豊かな生態系と生物多様性の保全
- ②自然との新しいふれあいの機会の創出

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
自然体験ツアー参加者数	405人	480人

景観形成

茶園を中心とした地域の資源を活かした魅力的な町の景観を作ります

- ①美しい里山景観の保全と継承
- ②自然を利活用した秩序ある景観形成の誘導

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
不法投棄発生件数	6件	0件

環境保全

地球温暖化防止効果や費用対効果に配慮しながら新しい環境を作ります

- ①環境負荷の少ない自然共生型社会の創出
- ②環境意識の醸成・人材育成

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
エコアクション21取り組み事業所数	7事業所	10事業所

5 住民参加・行政運営分野

住民主役の地域づくりが盛んなふるさと



地域づくり

地域に愛着をもって地域活動に参加しやすい意識づくり・環境づくりを進めます

- ①自治組織や地域づくり団体に対する活動支援
- ②地域の課題解決を支えるコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスの支援
- ③住民によりそった行政サービスの推進
- ④住民と行政の協働によるまちづくり
- ⑤国内外の多様な交流機会の創出
- ⑥すべての人の意見や価値観が尊重される共生社会の実現

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
「千年の学校」公開講座の開催数	1回	4回
町内情報新聞掲載件数	128件	150件
委員会・審議会女性登用率	16.5%	30.0%

KPI(目標指数)	現状値(令和元年度)	目標値(令和8年度)
町主体の地域間交流・国際交流事業数	3件	5件

行財政

効果的に施策を推進できる組織を作り、改革の活性化に努めます

- ①効果的な行政運営と効率的な財政運営
- ②社会保障制度の適正な利用の促進
- ③広域行政の推進

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
経常収支比率(%)の改善	89.0%	85.0%
広域連携事業件数	2件	5件

6 産業・労働分野

お茶と温泉、活気ある
産業に満ちたふるさと



農林業

川根茶の品質、大井川産材木の活用を推進します

- ①農林業の生産性向上と経営の再構築の促進
- ②意欲的な担い手の確保と育成支援
- ③6次産業等の新たな事業展開への支援

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
新規認定農業者(法人)数累計	9件	21件

商工業

地域を支える商業の維持・活性化を図るため、さまざまな支援を充実させます

- ①地元企業や事業者の経営基盤の強化
- ②新たなしごとや事業機会の創出
- ③ソーシャルビジネスの起業支援

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
新規創業者数	10件	22件

観光業

多様化するニーズに合わせて、周辺の市町と連携をして新たな観光資源を作ります

- ①地域資源を有効活用した魅力的な観光地づくりへの支援と体制づくり
- ②新たな観光商品・サービスの創出支援

KPI(目標指数)	現状値(令和元年度)	目標値(令和8年度)
観光交流客数	50.6万人	62.5万人

プロモーション

町の魅力を多くの人に知ってもらうために効果的なプロモーションを推進します

- ①地域マーケティング、地域マネジメント手法の導入
- ②戦略的なプロモーションの展開
- ③町内外に向けた積極的な情報発信
- ④インターネット、Webページを活用した川根本町の魅力の共有と発信

KPI(目標指数)	現状値(令和2年度)	目標値(令和8年度)
町ホームページアクセス件数	714,321件	800,000件

計画の期間

基本構想は平成29年度(2017)から令和8年度(2026)までの10年間、前期基本計画は平成29年度(2017)から令和3年度(2021)までの5年間、後期基本計画は令和4年度(2022)から令和8年度(2026)までの5年間です。実施計画は令和4年度(2022)からの3年間としますが、毎年度ローリング方式によって見直しを行います。また、社会情勢の変化に応じて、計画期間の見直し期間を修正することとします。



第2次 川根本町総合計画 概要版

基本構想 2017→2026
後期基本計画 2022→2026

発行：令和4年6月
川根本町企画課まちづくり推進室
〒428-0313 榛原郡川根本町上長尾 627
TEL:0547-56-2221 FAX:0547-56-2235
<https://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/>

表紙：地域おこし協力隊 渡辺実優